愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	ジェンダー論		
担当者(Instructors)	持田 洸	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

男/女の二分法や異性愛は常に「当たり前」や「本能」であり「自然」なものとして考えられてきた。しかし、そのような考え方は社会や文化によってつくられたものであり、我々は日常生活において無意識的に思考や行動を制限されている。本講義はそのような当たり前のこととして見過ごしがちな「性別」という枠組みを問い直し、現代社会に残存している諸現象や諸問題の存在を認識・理解した上で未来の展望を考える力を養うことを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	現在のジェンダー問題を様々なテーマに基づいて解説する。ジェンダーに関するメディアによるニュースやビデオも適宜教材として活用する。また、グループディスカッションやディベート等のアクティブラーニング型の授業方式を積極的に取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス&イントロダクション　ジェンダーとは何か？	授業の進め方、授業概要や目的、成績評価について説明し、ジェンダーについてアンケートを踏まえたイントロダクションを実施する。	□
第2回	セクシュアリティとは何か？	異性愛主義とLGBTQ+、SOGIについて学ぶ。	□
第3回	セクシュアルマイノリティとその諸問題	SOGIハラスメントやアウティング、同性婚問題、セクシュアルマイノリティの人たちが抱える生きづらさについて学び、その解決について考える。	□
第4回	教育とジェンダー	我が国の学校教育の歴史における女性、学力と性差、隠されたカリキュラムについて学び、学校教育をはじめとした教育のあるべき姿について考える。	□
第5回	スポーツとジェンダー	スポーツの歴史における女性、スポーツにおける男性中心・優位性、LGBTQ+の問題について学び、その問題の解決策について考える。	□
第6回	メディアとジェンダー	メディアによるジェンダー・ステレオタイプやメディアの中立性・公正性について学び、メディアのあるべき姿について考える。	□
第7回	政治・法とジェンダー	参政権運動、性差別禁止や男女共同参画に関する法や条約、アファーマティブ・アクションについて学び、その是非について考える。	□
第8回	家族・労働とジェンダー	家父長制、婚姻制度、性別役割分業、女性の就業率と非正規雇用、給与格差について学び、女性の社会進出における問題とその解決について考える。	□
第9回	暴力とジェンダー	性暴力、セクハラ、DVについてその構造を学び、社会としてどのように対処すべきかを考える。	□
第10回	宗教とジェンダー	宗教における女性差別的・男尊女卑的な教義や宗教教義の絶対性について学び、ジェンダー平等の達成のために宗教とどう関わるかという点について考える。	□
第11回	フェミニズム運動の歴史①	フランス革命期における参政権運動～第一波フェミニズムについて学ぶ。	□
第12回	フェミニズム運動の歴史②	第二波フェミニズム～現代のフェミニズムについて学ぶ。	□
第13回	ジェンダー論争をテーマとしたディベートの準備	割り当てられた立場から、チームでジェンダー論争について考える。	□
第14回	ジェンダー論争をテーマとしたディベートの実践①	ディベートを行う。ディベートをしない班は審査員として説得力のある方に投票する。各ディベート後には振り返りを行う。	□

第15回	ジェンダー論争をテーマとしたディベートの実践②	ディベートを行う。ディベートをしない班は審査員として説得力のある方に投票する。各ディベート後には振り返りを行う。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

毎回授業の予習・復習を行い、授業後にはリアクションペーパーを作成すること。また、ディベートの準備や最終課題を作成するための情報を収集し、その情報を基に論を展開すること（予習・復習各2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回のリアクションペーパーは次回の冒頭で紹介し、フィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	☒　ジェンダー、セクシュアリティ、フェミニズムの基本概念について理解している。 ☒　社会問題や自身の経験と☒　の知識を結び付けられるようになる。 ☒　ジェンダーに関係する具体的な問題に対して自身の意見を述べることができるようになる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

最終課題としてレポートを作成し、提出すること。ディベートや授業全体を通した知識理解や思考・表現を中心的に問う。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	牟田和恵編『改訂版　ジェンダー・スタディーズ-女性学・男性学を学ぶ-』大阪大学出版会、2015年。	9784872594973
2	加藤秀一『はじめてのジェンダー論』有斐閣、2017年。	9784641150393
3	神谷悠一・松岡宋嗣『LGBTとハラスメント』集英社、2020年。	9784087211276
4	風間孝・河口和也・守如子・赤枝香奈子『教養のためのセクシュアリティ・スタディーズ』法律文化社、2018年。	9784589039705
5	奥田暁子・秋山洋子・支倉寿子編著『概説　フェミニズム思想史』ミネルヴァ書房、2003年。	4623037339